

災害ボランティア活動をサポートする

「災害ボランティアセンター」とは？

災害ボランティアセンターとは

災害時に設置される被災地での災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。
近年では、被害の大きな災害に見舞われたほとんどの被災地で立ち上げられ運営されています。
小浜市でも、平成25年9月の台風18号の被災時に小浜市総合福祉センター内に立ち上げました。

災害ボランティアセンターの運営の担い手

一般的に、被災した地域の社会福祉協議会、日頃からボランティア活動に関わっている人たち、行政が協働して担っています。
小浜市でも、小浜市社会福祉協議会、NPO法人WACおばま、若狭青年会議所、小浜市市民協働課の災害ボランティアセンター連絡会の構成団体が連携してセンターを立ち上げ、運営については、連絡会の構成団体の他、郵便局長会や市民活動団体なども協働して担いました。



ニーズ受付・総務（活動管理・車両管理）
この場所で被災地のニーズを受け付けています！

災害ボランティアセンターの活動内容

【被災地のニーズの把握】

土砂の除去、畳・家具の運び出し、倒木の片付けなど、被災地のニーズを収集します。
ニーズについては、地域の実情に詳しい区長さんなどを通じて収集するほか、直接要望を聞いて回ります。

【ボランティアの受け入れ】

災害ボランティアセンターを立ち上げた場所を、被災地内外に情報発信し、活動を希望するボランティアの受付を行います。

【人数調整・資機材の貸し出し】

被災された人たちからのニーズに合わせて、必要なボランティアの人数などを調整します。
活動のために道具が必要な場合、それらを準備して貸し出します。

【活動の実施】

要望に合わせて、ボランティアが家屋や敷地などで活動します。

【報告・振り返り】

活動の結果、気がついたこと、住民からの要望などを報告し、その後の活動に活かします。

活動ボランティアの声

「裏庭の土砂上げ作業で比較的重労働でしたが、お家の方が色々気を使って下さり、作業終了後におとうさんが涙を浮かべながら一人一人にお礼を言って回られる姿が印象的でした。何らかの力になれば、うれしい気持ちになりました。有償では味わえないボランティア活動の感動がありました。」

ボランティアセンターの活動の流れ

ボランティア受付・保険受付

マッチング

オリエンテーション

被災地へ出発

資機材輸送・管理

ボランティア活動

活動終了

